

競技注意事項

1 競技規則について

本大会に適用する規則は、2019年度日本陸上競技連盟競技規則および大会規定である。

なお、スタートにおける不適切行為については、イエローカード2枚で当該種目のみ失格とし、以後の種目の出場は妨げない。また、競歩競技では、競歩審判員主任単独による失格権限を適用する。

2 練習について

練習はすべてサブトラックを使用する。ただし、サブトラック及び競技場外での投てき練習は一切禁止する。なお、メディシンボール（ロープ付きを除く）を用いてのウォーミングアップについてはサブトラック横の指定された場所で下記の時間に限り認める。

第1日 7:30～15:20 第2日 7:30～15:50 第3日 7:30～12:20

3 招集について

(1) 場所は雨天練習場に設ける。

(2) 種目別の開始時刻、完了時刻はプログラムの競技日程欄に記載されている。

(3) 手順

① 招集開始時刻に競技者係の点呼を受ける。その際、ナンバーカード・腰ナンバーカード（左右両腰につける）とスパイクピンなどの確認を受ける。

② 点呼の代理は認めない。ただし、2種目以上にわたって同時刻に出場する競技者は、あらかじめ本人が競技者係へ多種目同時出場届（プログラムの末尾に綴込み）を提出し、あわせて招集に来ることが出来ない種目の点呼（ナンバーカード・腰ナンバーカード・スパイク等の確認）を受けておくこと。その場合に限り、招集時刻の点呼に代理を認める。

③ 混成競技については、1日目・2日目ともに第1種目は競技者係にて行う。以降の種目については、招集所北側の混成競技者控え場所に、トラック種目は競技開始の20分前、フィールド種目は35分前までに集合すること。ただし、最終種目については競技者係にて行う。なお、途中で棄権する場合は必ず混成競技係に申し出ること。

(4) 招集完了時刻に遅れた競技者は、出場する意志がないものとみなし処理する。

(5) 当該種目を欠場する者（チーム）は、あらかじめ欠場届を競技者係に提出すること。

4 競技について

(1) レーン、試技はすべてプログラム記載の番号順とする。準決勝・決勝の組合せ（レーン順、試技順）はすべて番組編成員が行い、招集所およびCゲートに掲示する。

(2) 競技結果については、場内アナウンスおよびスクリーンで発表する。

なお、競技結果が場内スクリーンに確定表示された時点を正式発表とする。

(3) リレーオーダー用紙の提出について

各リレー種目のオーダー用紙は、すべて1日目の学校受付時に配付する。

ラウンド	提出先	提出時刻
予選	招集所入り口付近の競技者係	1組目の招集完了時刻の2時間30分前から1時間30分前まで
準決勝・決勝	同上	招集完了時刻の1時間10分前から40分前まで

準決勝・決勝のオーダー用紙は競技者係で受け取り、必要事項を記入し必ず提出すること。

なお、リレーオーダー用紙の記入例をプログラム巻末に掲載しているのので、参考のうえ間違いのないように記入すること。

(4) 5000m、女子3000m、5000m競歩は別（胸、腰）ナンバーカードを使用する。また、1500m、3000mSCは別（腰）ナンバーカードを使用する。4×400mにおいて第2・3走者は右腰に・第4走者は左右両腰に腰ナンバーカードをつけること。

5000m、女子3000mはグループスタートで行う。

(5) トラック競技における次のラウンドへの進出について

① (+α)を決めるとき、その最下位で同タイム(1/100単位)が出た場合、1/1000秒単位で優劣の判定をする。

(ア)レーンに余裕がある場合・・・同タイム(1/1000秒単位)の選手の進出を認める。

(イ)レーンに余裕がない場合・・・本人または代理人により抽選する。

②同着により着取りによる進出者が増えた場合は、+αでの進出者数を減らす。

